

- ファイルのダウンロード

- Borland C++ Compiler 5.5

<http://www.borland.co.jp/cppbuilder/freecompiler/index.html> にアクセスする。「Borland C++ Compiler ご使用条件」のページを表示し、内容をよく確認したならば「同意する」をクリックして、以下のファイルをダウンロードする。

freecommandlinetools2.exe (約 8.6MB)

freecommandlinetools_update.exe (約 2.6MB)

- Borland Turbo Debugger 5.5

上記の URL から、必要ならばデバッガもダウンロードする。ただし、デバッガはフリーソフトウェアであるが利用者登録しないと使えない。利用者登録を行うと、メールでパスワードが送付される。

freeturbodebugger.exe (約 0.6MB)

- setbcc

<http://www.cmagazine.jp/setbcc.html> にアクセスし、以下のファイルをダウンロードする。このファイルには、Bcc を簡単に設定するためのツールが含まれている。

setbcc15a.exe (約 0.3MB)

- BccDev 1.1.15

<http://www.vector.co.jp/vpack/filearea/win/prog/c/index.html> にアクセスし、以下のファイルをダウンロードする。ただし、このファイルは本書執筆時点の最新版である。

bccdev1115.zip (約 1MB)

- 動作環境

BccDev の開発者(三浦淳氏)が動作確認をした環境は、Windows98/Me/2000 である。Windows95/NT4.0/XP では動作確認をしていない。本付録で利用した環境は Windows XP Professional であるが、インストールおよび動作確認で不具合は発生しなかった。

- Bcc(Borland C++ Compiler)インストール

1) freecommandlinetools2.exe を実行する。

「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」を選択する。
「参照」ボタンをクリックし、ファイルを指定したならば「開く」、続いて「OK」ボタンをクリックすればよい。

2) 「FreeCommandTools 使用許諾契約」を表示し、同意を求めてくる。内容をよく読み、「同意する」ボタンをクリックする。



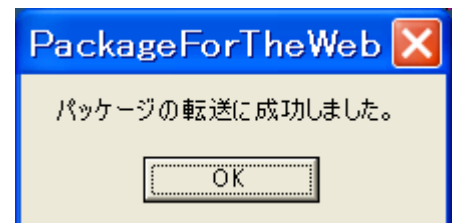
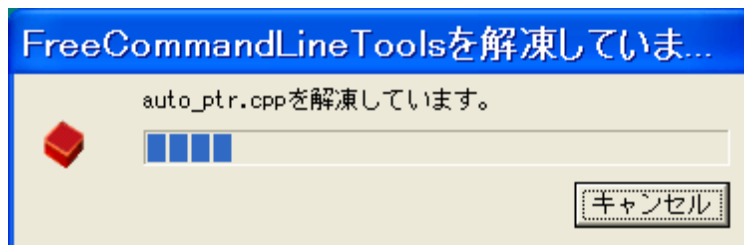
- 3) インストール先フォルダ(ディレクトリ)を指定する。デフォルトは「C:\borland\bcc55」であるが、任意に変更できる。本付録では「C:\Program Files\borland\bcc55」を指定した。指定後「完了」ボタンをクリックする。



- 4) 指定したフォルダが存在しないと、以下のようなダイアログが表示されるので、「はい」ボタンをクリックする。



- 5) パッケージの解凍がはじまり、指定したフォルダにファイルが転送される。転送が完了すると、「パッケージの転送に成功しました。」というダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックして、インストール作業を終える。



- 6) freecommandlinetools_update.exe を実行する。
実行手順は 1) と同じである。

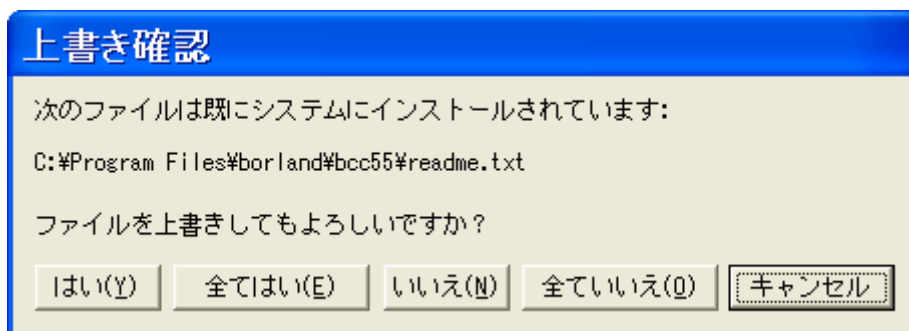
- 7) 再度「使用許諾契約」が表示されるので、内容を確認した後「同意する」ボタンをクリックする。



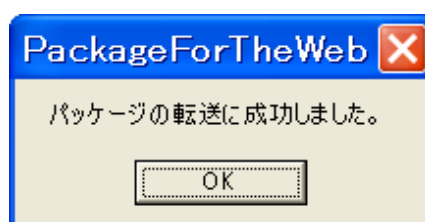
- 8) インストール先のフォルダを指定する。デフォルトは「C:\¥borland¥bcc55」である。本付録では、「C:\¥Program Files¥borland¥bcc55」を指定してあるので、こちらを指定する。「参照」ボタンを使って指定するとよい。指定後、「完了」ボタンをクリックする。



- 9) 上書きの確認を求めてくるので、「全てはい」ボタンをクリックする。

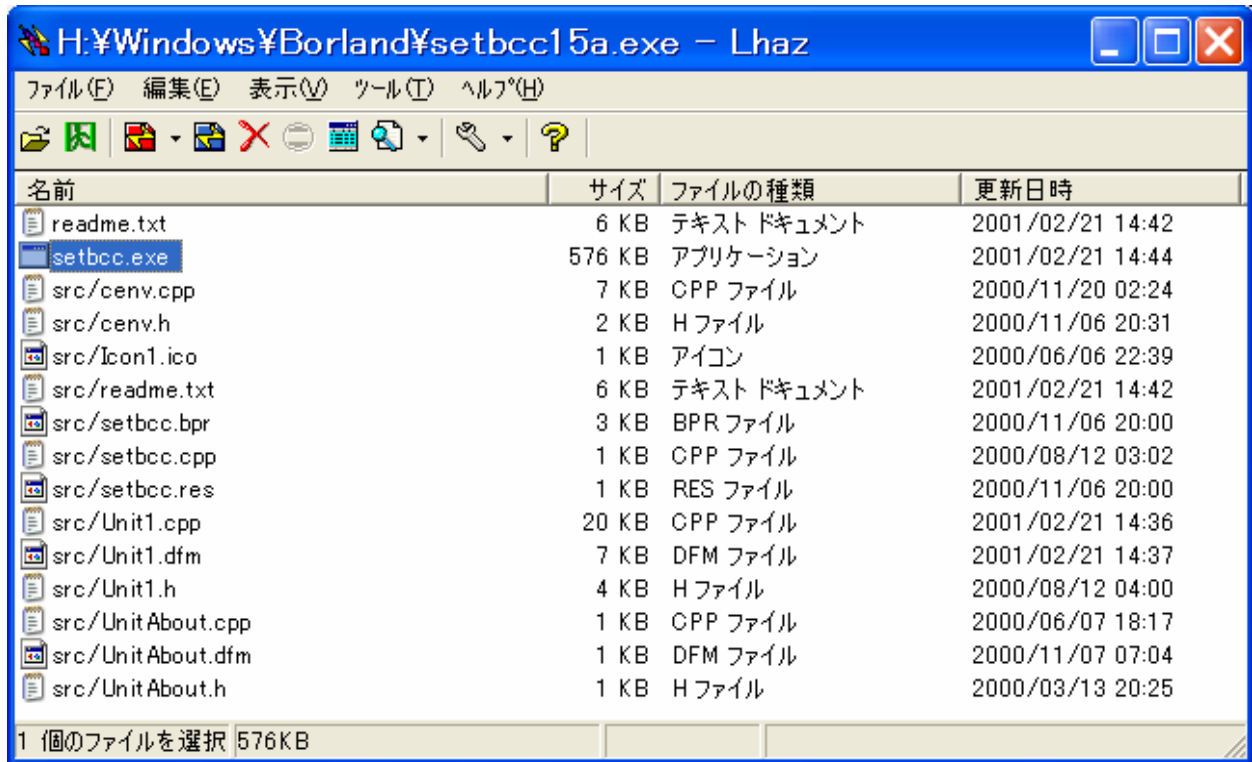


- 10) パッケージの解凍が行われ、指定したフォルダにファイルが転送される。転送が完了すると、以下のようなダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックする。これでコンパイラのバージョンが 5.5 から 5.5.1 にアップする。



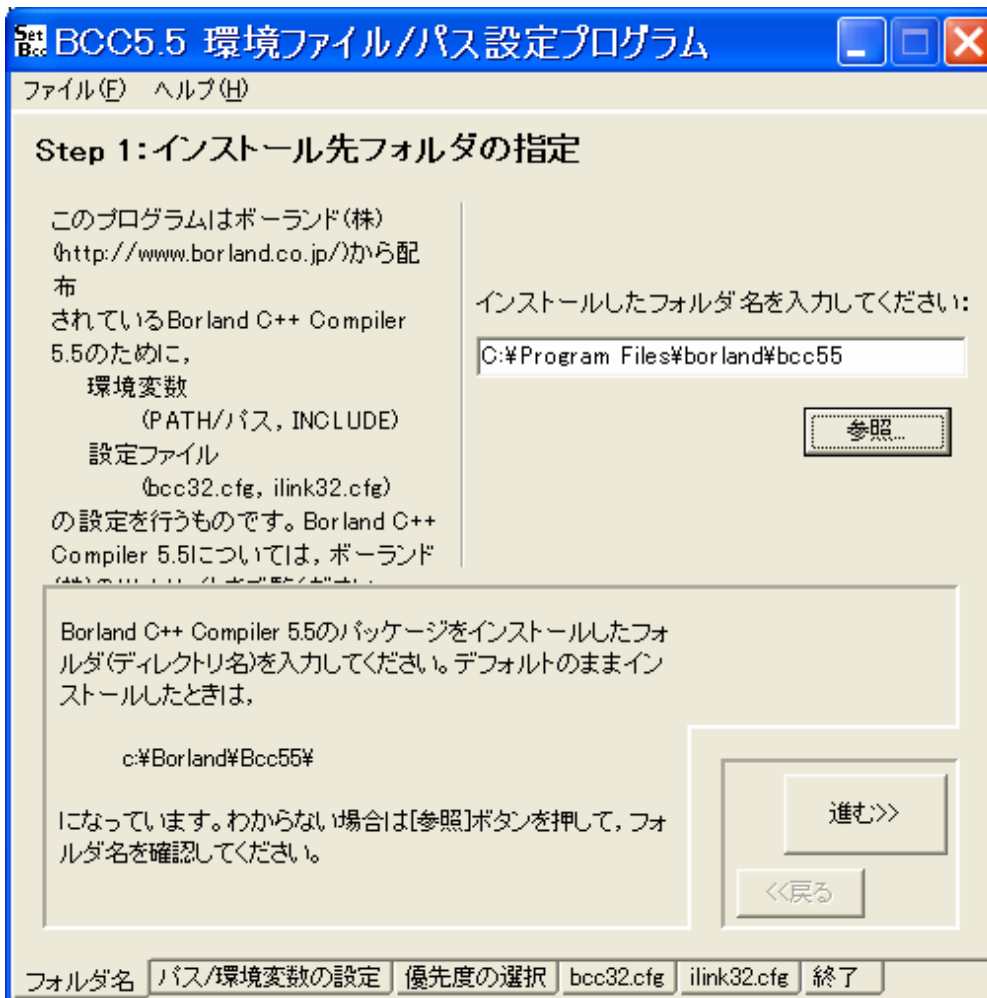
- bcc32.cfg および ilink32.cfg 作成

1) 自己解凍形式ファイル setbcc15a.exe を解凍ツールに読み込ませ、ファイル「setbcc.exe」のみを解凍する(本付録ではフリーソフトウェア Lhaz バージョン 1.00 を利用した)。setbcc15a.exe を直接実行してもよいが、すべてのファイルがカレントのフォルダに解凍される。

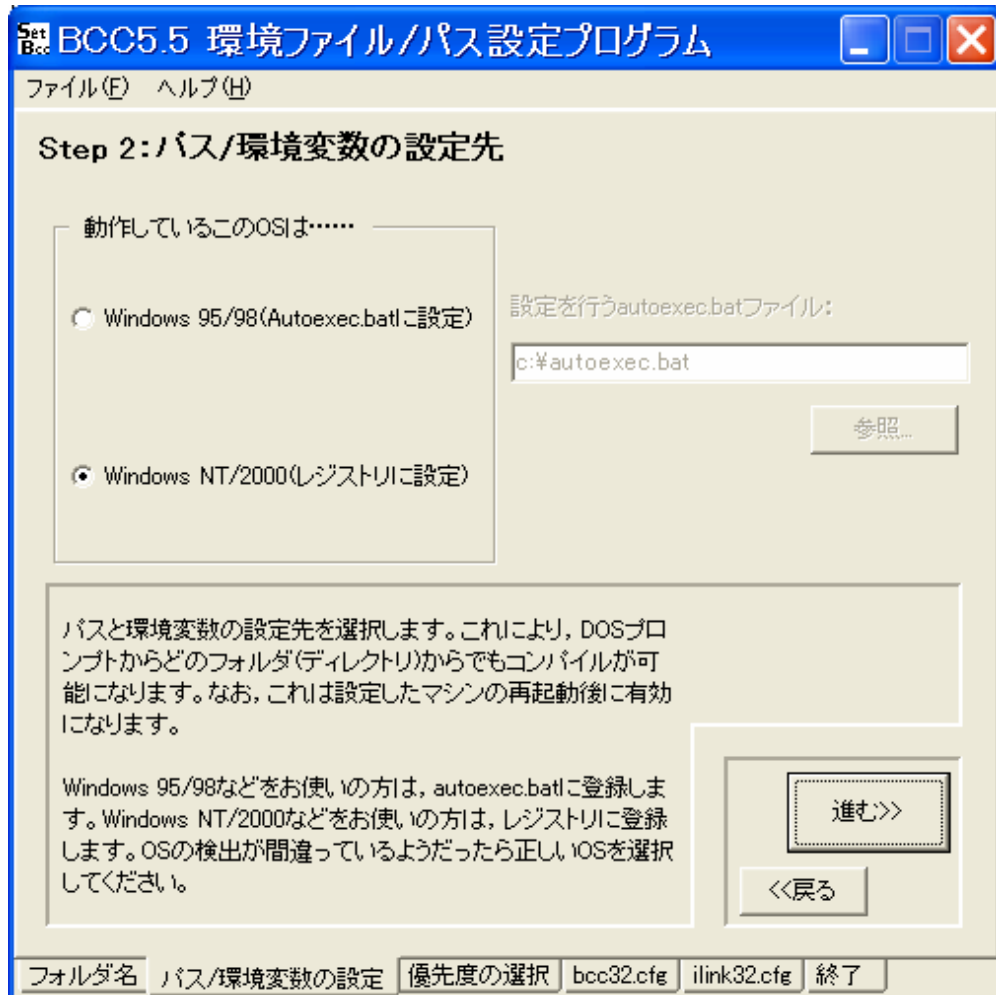


2) setbcc.exe を実行する。

Step 1 では、Bcc のインストール先フォルダを指定する。先ほどインストールしたフォルダを「参照」ボタンを使って指定しよう。フォルダを指定したならば、画面右下にある「進む」ボタンをクリックする。



3) Step 2では、パスあるいは環境変数の設定を行う。OSによって、設定内容が異なる。チェックマークのついている OS 名と自分の利用している OS が一致していることを確認して、「進む」ボタンをクリックする。



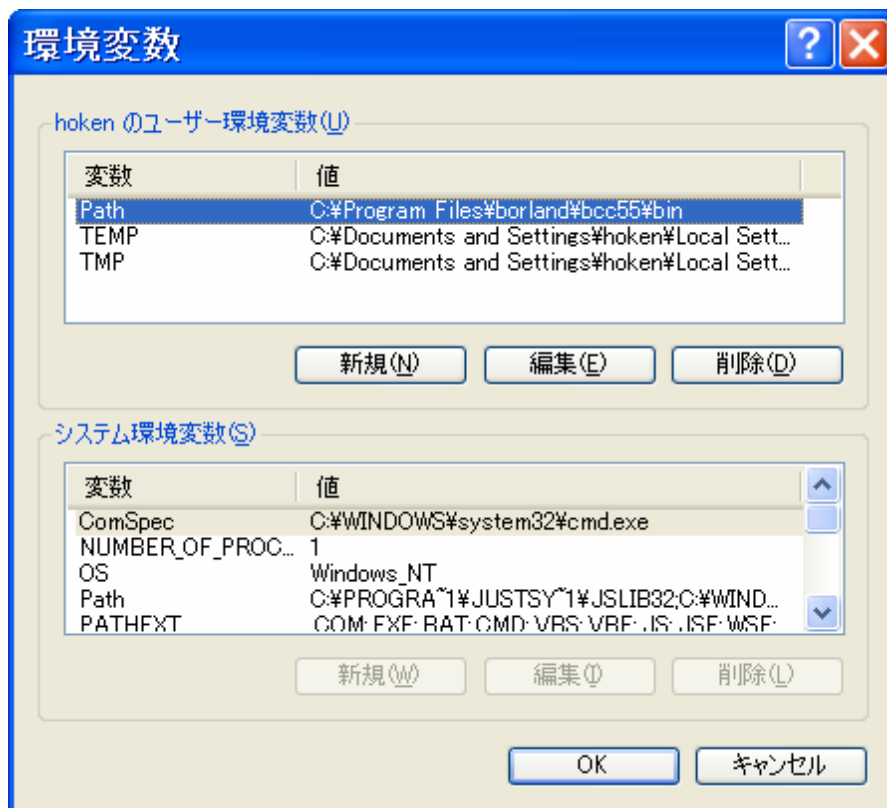
本付録で利用している OS は Windows XP Professional なので、「レジストリに設定」にチェックマークがついている。ただし、レジストリの変更にはシステム管理者権限が必要である。システム管理者権限がない場合には、7)の Step6(「設定の登録」)でエラーが発生する。この場合には、「コントロールパネル」から「パフォーマンスとメンテナンス」の「システム」を選択し、「詳細設定」タブの「環境変数」をクリックする。

すると、「ユーザ環境変数」と「システム環境変数」が表示されるので、「ユーザ環境変数」で、

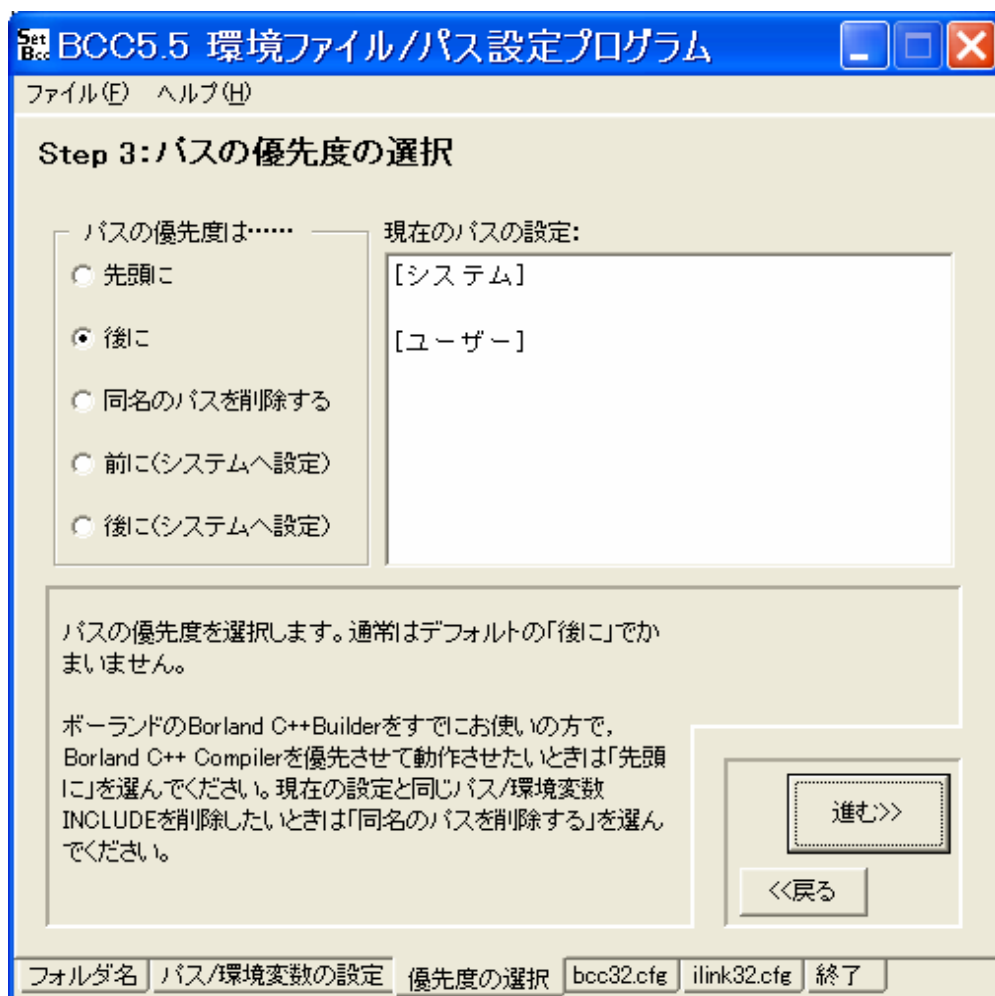
変数 Path

値 C:\Program Files\borland\bcc55\bin

を設定すればよい。



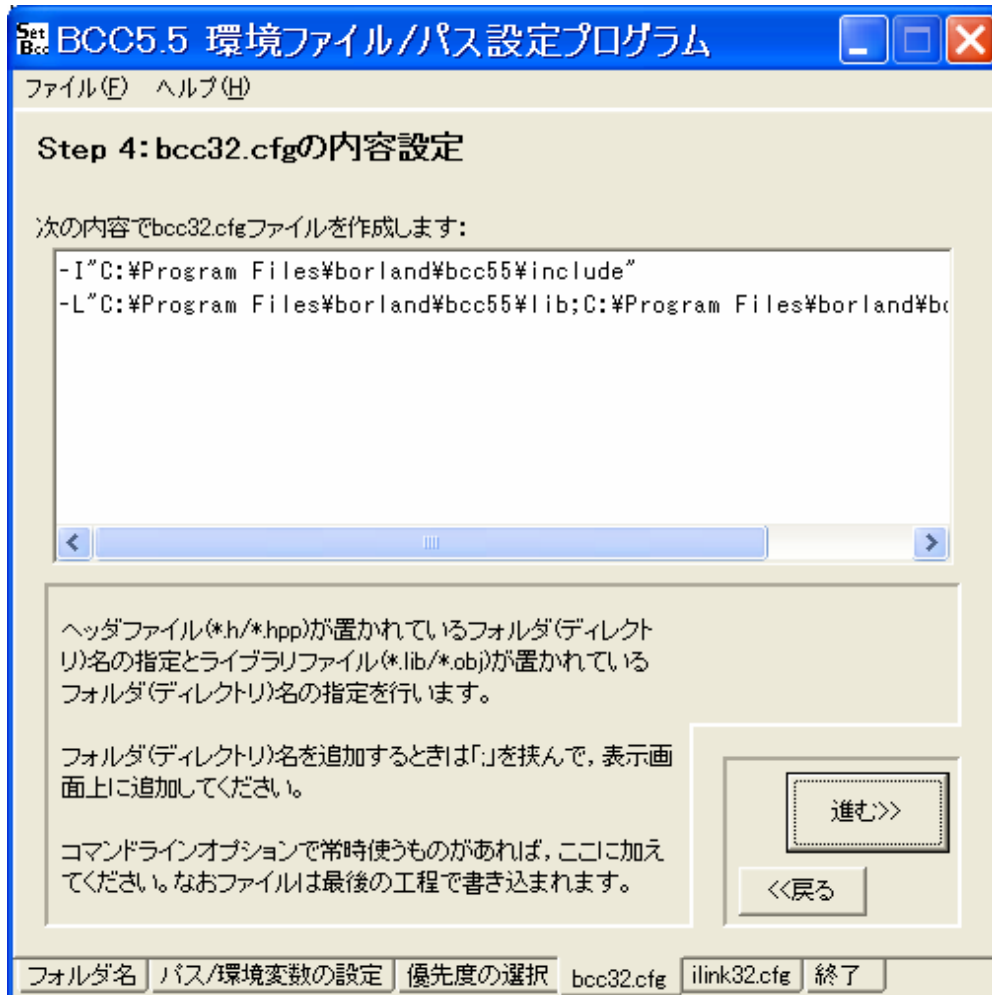
4) Step 3 はデフォルトのままで問題ないので、単に「進む」ボタンをクリックする。



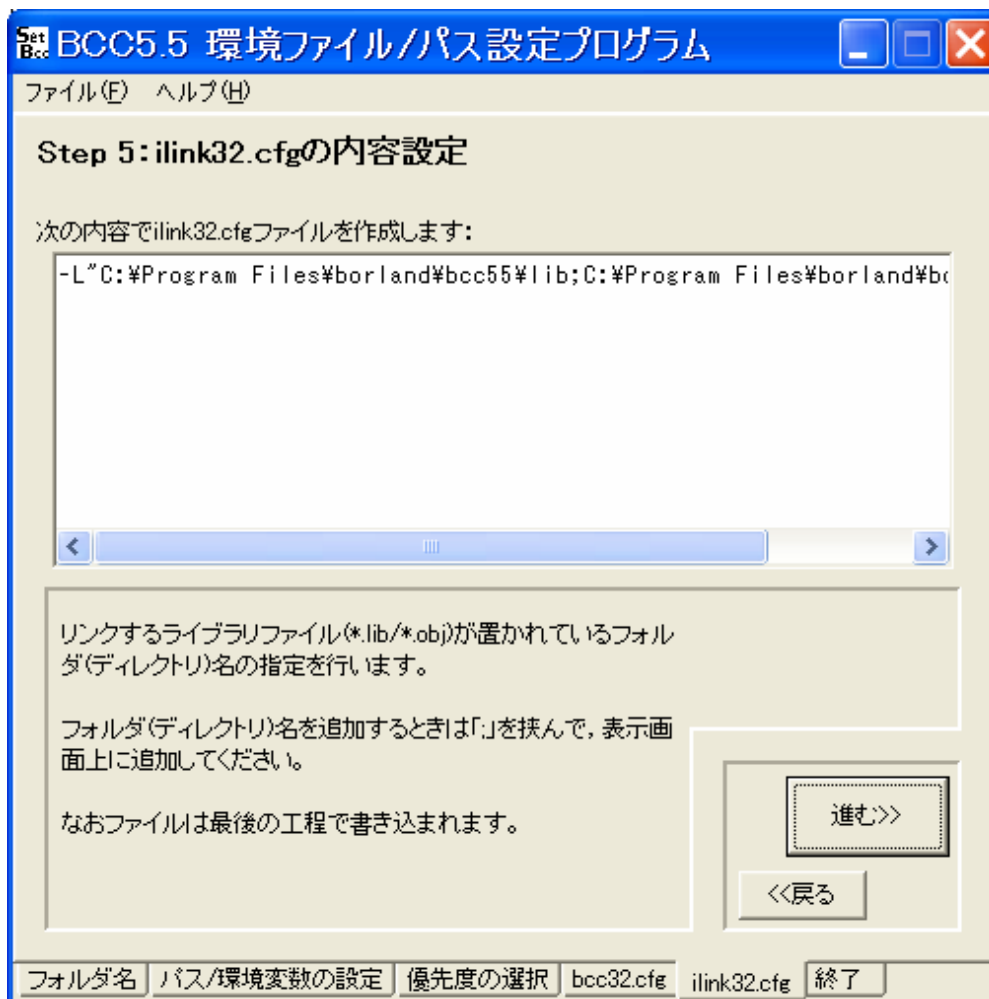
5) Step 4では、ファイル bcc32.cfg の設定内容を確認し、「進む」ボタンをクリックする。なお、ここに

-H
-Hs

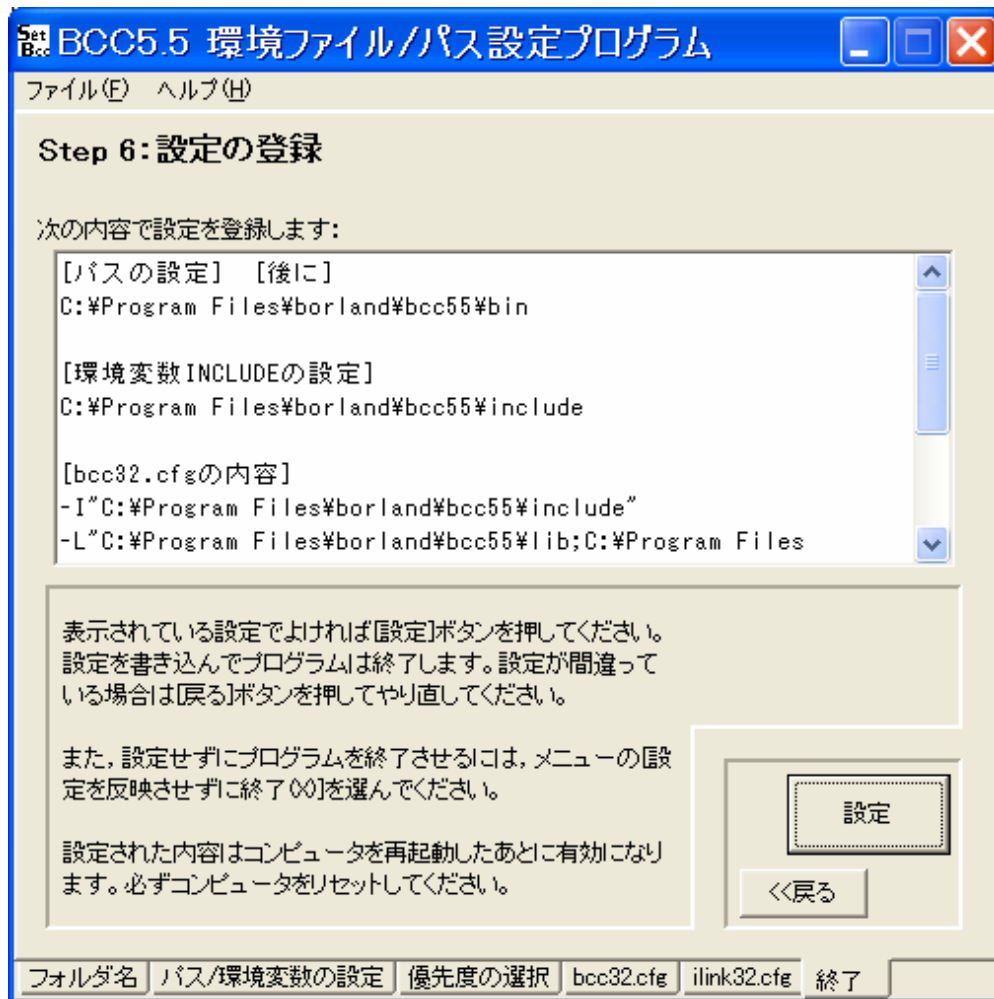
を追加しておくこと、コンパイル速度がかなりアップするようだ。



- 6) Step 5 では、ファイル ilink32.cfg の設定内容を確認し、「進む」ボタンをクリックする。



- 7) Step 6 では、これまでに設定した内容を表示し、設定の登録を行う。設定内容が正しいならば、「登録」ボタンをクリックして設定終了である。



- Borland Turbo Debugger インストール
デバッガが必要であればインストールする .コンパイラのみ利用するならば ,
インストールは不要である .

1) freeturbodebugger.exe を実行する .

2) パスワードの入力を求めてくるので , 利用登録時メールで送付されたパス
ワードを大文字 , 小文字を区別して正しく入力し , 「次へ」 ボタンをクリッ
クする



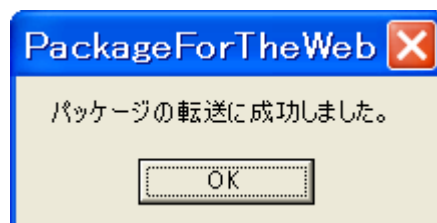
3) TurboDebugger 使用許諾契約が表示されるので内容をよく読み , 「同意す
る」 ボタンをクリックする .



- 4) インストール先の指定を求めてくるので、Bcc のインストール先と同じフォルダを「参照」ボタンを用いて指定する。デフォルトは「C:\Program Files\borland\bcc55」である。指定後、「完了」ボタンをクリックする。



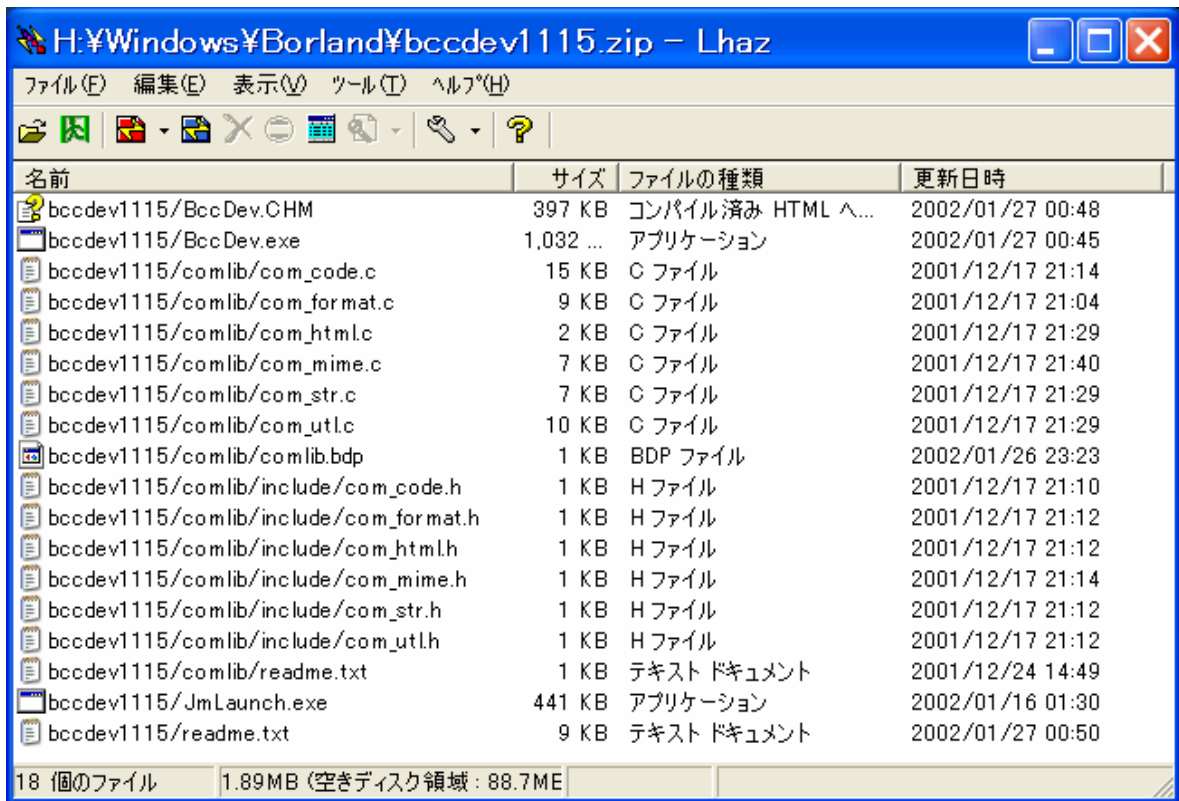
- 5) パッケージの転送が完了すると、以下のようなダイアログが表示される。「OK」ボタンをクリックして、インストール作業完了である。



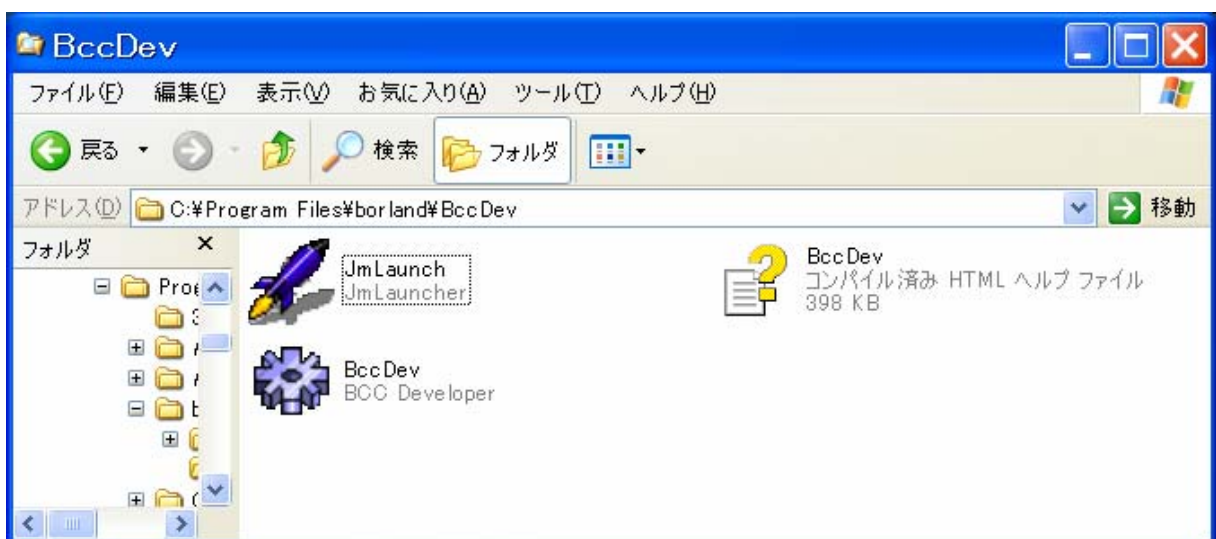
- BccDev(Bcc Developer)インストール

- 1) bccdev1115.zip の解凍

ファイル BccDev.CHM, BccDev.exe, JmLaunch.exe を解凍し, インストール先のフォルダに格納する(本付録では Lhaz バージョン 1.00 を利用した)。

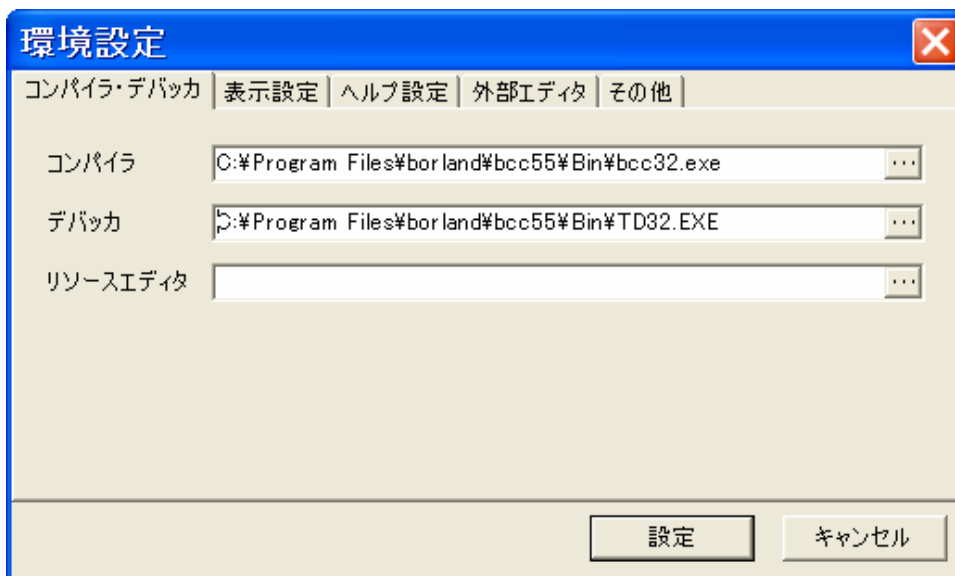


本付録では, 「C:\Program Files\borland\BccDev」にインストールした。



2) BccDev.exe を実行する。

環境設定ダイアログが表示されるので、コンパイラ（ファイル名は bcc32.exe）のインストール先、およびデバッガ（ファイル名は TD32.EXE）をインストールした場合には、デバッガのインストール先を指定する。右側の「...」ボタンをクリックして参照するとよい。フォルダの指定ができたならば、「設定」ボタンをクリックする。



- 3) BccDev が立ち上がる .
必要であれば ,デスクトップに BccDev のショートカットを作成する .

